

1:衣類排出量

	数量(トン)
国産衣料	384,000
輸入衣料	1,054,000

1,438,000 注①

	数量(トン)
事業所利用	101,000
家庭利用	1,337,000

1,438,000 注①

2:古着の行方

一般廃棄物	959,000	66.7%
集団回収	64,000	4.5%
資源ゴミ	61,000	4.2%
小売店引取	8,000	0.6%
古紙回収業者	35,000	2.4%
リサイクルショップ	33,000	2.3%
バザー等	23,000	1.6%
ネット販売	17,000	1.2%
他人への譲渡	61,000	4.2%
その他・不明	177,000	12.3%

1,438,000

各回収業者による回収 11.1%

3:排出量の人口比

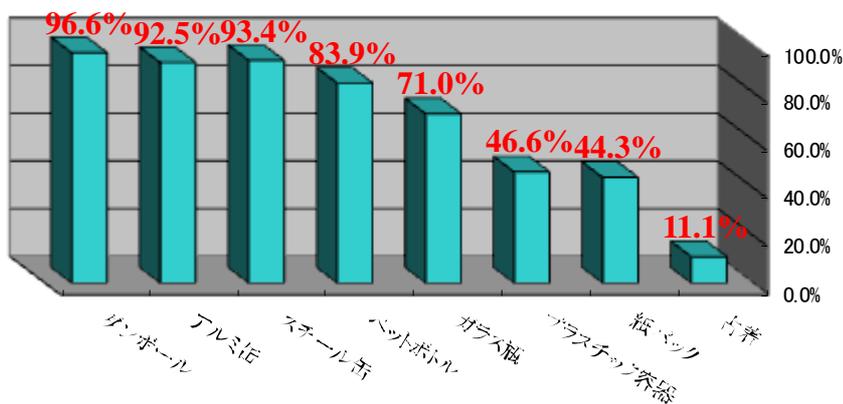
全国人口	127,687,000	注②
------	-------------	----

人口10万人当り	1047.1	トン/年
	87.3	トン/月

4:他のリサイクル率

主要品目	リサイクル率	年度	
ダンボール	96.6%	2016	注③
アルミ缶	92.5%	2017	注③
スチール缶	93.4%	2017	注③
ペットボトル	83.9%	2016	注③
ガラス瓶	71.0%	2016	注③
プラスチック容器	46.6%	2016	注③
紙パック	44.3%	2016	注③
古着	11.1%	平成18年	

主要品目のリサイクル率



注①: 独立行政法人・中小企業基盤整備機構 平成19年2月発表「繊維製品リサイクルの現状調査」

注②: 総務省統計局による平成27年10月1日想定人口

注③: スチール缶リサイクル協会 2017年発表

独立行政法人・中小企業基盤整備機構の資料によるとたった11.1%しか再利用されていないのが衣類です。他の回収品目と比べてもその低さは際立っています。回収増の努力も当然必要ですが、国民の皆さんが「ポロ」ではなく、「古着」としてその再利用の価値にご理解を頂き、我々業者も努力する必要があると思います。せめて他国平均と同じ30%程度は目標とすべきではないでしょうか？